

保育の魅力向上に関する意見募集の結果（速報版）

資料4

- 意見募集期間：令和2年1月16日～2月15日(土) ※2月10日(月)10時時点：1,048件
- 速報版の集計回答件数：398件(1月16日(月)～1月27日(月)まで集計)

【意見募集の質問項目】

- Q1. あなたは、保育士という職業のやりがいや魅力を、どのようなところにあると思いますか？（例：子どもの成長を感じられた時等）
- Q2. あなたは、働く場所としての保育所の魅力を、どのようなところにあると思いますか？（例：労働条件（待遇面を含む）や労働環境等）
- Q3. あなたは、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んでいること、取り組みたいと思うことはありますか？
- Q4. 国や自治体に、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んで欲しいことはありますか？
- Q5. その他（職業としての保育士や働く場所としての保育所に関して、その魅力の向上や発信に関し、ご自由に記載してください）

(1)分類項目ごとの意見の件数

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
子どもとの関わり・成長実感	361	96	45	0	6
病児病後児・特別支援など	0	0	3	7	1
保護者との関わり	87	30	40	1	6
自身の成長・学び・誇り・自主性	36	56	31	0	0
地域や他施設保育者との連携・支援	1	6	28	4	1
社会的地位・保護者等の啓蒙・HP等での発信	0	0	19	56	23
志望者・潜在保育士等への働きかけ	0	0	48	8	11
OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見える化	1	9	46	15	7
職員・職種の多様性	1	3	6	0	1
労働環境（人間関係・チームワーク）	9	116	103	4	6
労働環境（賃金・昇進昇格）	3	46	16	189	37
労働環境（就業時間・休みの取り方）	2	87	42	53	20
労働環境（その他）	1	63	27	21	13
業務負担軽減・業務効率化	0	2	26	19	11
保育所等の給付事務に係る提出書類の効率化	0	0	0	5	0
自治体監査・園評価のあり方	0	0	1	12	6
保育士等の配置基準	0	1	0	27	9
施設運営・事業主体の規制・助成基準	0	0	0	20	11
その他 法整備・行政対応	0	0	2	39	23
該当なし	21	49	45	47	120

(2)分類項目ごとの特徴的な意見やエピソード

Q1: あなたは、保育士という職業のやりがいや魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:子どもの成長を感じられた時等)

	特徴的な意見・エピソード
子どもとの関わり・成長実感 361件	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの成長を、職員や保護者の方、子ども達と共に喜び合える• 日本の将来を担う、未来の力を育成しているという責任ある仕事であること• 子どもと信頼関係、愛着関係を結べたと感じられた時• 卒園した中高生、社会人になった子ども達が悩んだり人生の節目で園へ来てくれた時• 人間本来が感じる喜びや発見、様々な感情を感じている姿に立ち会える時• 子どもたちの心の動きや感情面などに、成長を感じたとき。無垢な心から発せられる言葉に何度も感動を覚えている
保護者との関わり 87件	<ul style="list-style-type: none">• 保護者の悩みに寄り添い、一緒に乗り越えられたこと• 子どもと保護者の愛着形成が不足している中、保育者の支援により、改善され、子どもたちがうれしそうにしている様子や、愛着形成ができたこと• 様々な保護者がいるので大変な面もあるが、保護者から感謝されたり、子どもの成長を共に喜び合ったりすることができる• 「園でできるようになった」「先生たちのおかげで出来た」などと言ってもらえると「頑張ってた良かった」と思えるし、保護者の方の笑顔を見ると安心する• 子どもたちや保護者から手紙をいただいた時
自身の成長・学び・喜び・誇り・自主性 36件	<ul style="list-style-type: none">• 子どもの感性や素直な発想に触れ、自分自身も子どもたちと共に成長できる• 自分の提案した企画や環境設定で子どもたち喜んで楽しむんでいる姿• これからの日本を担う世代を育てるという、とても大きな楽しみ• 人が人を育てていくことに専門の知識を持つ者としてかかわる• 自分のやったこと、かけた言葉によって、成長がみられたときにやりがいを感じる• 常に体を動かし、頭で考え、言葉を使うので健康的• 自分の得意な部分を活かすことができる

Q2 : あなたは、働く場所としての保育所の魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:労働条件(待遇面を含む)や労働環境等)

	特徴的な意見・エピソード
<p>労働環境 (人間関係・チームワーク)</p> <p>116件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士だけでなく、栄養士や事務員・看護師・保育補助員も含めて、それぞれの立場でそれぞれの特性を活かしながら協力しあっている ・ 感じたこと思ったことを正直に打ち明けられ、子どもの姿を語り合える雰囲気がある ・ 職員同士が同じ方向(保育観・保育方針)を向いて保育ができること ・ 共に成長しあい、認め合い、学びあえる人的環境 ・ 先輩や同僚だけでなく若い人の意見を聞き、知識の広がりを得られる ・ 「保育をする」という専門的職業だと認識して常に向上し合う人間関係のあるところ ・ 互いに得意なことを生かし、不得意を補える ・ 家事・育児をしながら働いている人が多いため、相談に乗ってもらえたり助け合える ・ 複数担任であることから仕事のことを1人で悩むということがあまりない
<p>労働環境 (賃金・昇進昇格)</p> <p>46件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働条件は昔より断トツに恵まれていることを若い先生方に伝わらないのが残念 ・ 労働条件や労働環境もマスコミで騒がれる程悪くはないと思う。各施設により差があるとも思うが、私が以前に働いていた建設業界と比べると良いのではないか ・ 産休、育休、育児時間が保障されているので子育てをする職員にとって最低基準の賃金が保障されているところ
<p>労働環境 (就業時間・休みの取り方)</p> <p>87件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時で勤務が終了するので夜遅くまで働かなくてよい。持ち帰りの仕事がない。 ・ 福利厚生、有給休暇、産休、育休等労働環境が整っている ・ 急に呼び出されたり急な仕事で予定をキャンセルすることなどはない ・ 子どもの急病や行事に対してとても理解があり、有給や早退などが取りやすい ・ 自分の働きやすい時間帯で仕事ができる、 ・ 年間行事が決まっているため、休みの調節がしやすい ・ 夜遅くまで働かなくてよい、規則正しい生活なので、生活リズムが自分自身も整う
<p>労働環境 (その他)</p> <p>63件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場としても暑さや寒さが無く快適である。また、決まった人の出入りしかないので安心感 ・ 交通の便が良い、自宅から近い ・ 働く時間や所得の限度に合わせて働ける。
<p>子どもとの関わり・成長実感</p> <p>96件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0才～就学前までの子どもを預かる為、長い年月の中での成長が見守る事ができる。 ・ 人とのつながり。(卒園して終わりではなく、子どもをもつ親になって戻ってきてくれるなど) ・ 家庭的保育事業の事業者で、0~2歳児の一番成長の著しい時期に保育に携われ、定員5人の少人数の為個々にしっかり向き合った保育ができること

Q3: あなたは、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んでいること、取り組みたいと思うことはありますか？

	特徴的な意見・エピソード
<p>OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見える化</p> <p>46件</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各種研修会への参加促進、園内研修や会議による情報の周知、意識の確認 • 保育者の資質・技能向上に資する学習に重点的に注力 • 資質・技能とICTや5Gなどの技術を結びつけて、よりインタラクティブな関係を子どもや保護者、地域とつないでいく取り組みができれば • ドキュメンテーションなどを利用した子どもの姿の情報発信。また、ポートフォリオなどを活用し、個人の育ちの記録が見える化 • 研修で得た知識や技能を他の職員と共有し、園全体の保育の質と専門性の向上につなげる • これからの保育士はより専門性や多様性が求められると思う(中略)これだけは他人に負けないと思える自分の強みを身につけられるよう学び続けたり研修に参加[する] • エピソードなどを通して保育活動を発信し、子どもの成長や保育の楽しさを職員や保護者と共有するようにしている
<p>労働環境 (人間関係・チームワーク)</p> <p>103件</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 休憩時にもコミュニケーションをとる(保育以外の話含む。悩み相談等) • 園長が現場保育士との対話を重ねていく、保育者間の共通認識、意思の疎通 • 同じ女性であり、母親であるため、それぞれの状況を認め合い、協力し合ってシフトの調整をする • 困ったときはお互い様の精神で、急に休まなくてはならなくなった職員が出た時にみんなでカバーしようという雰囲気を作っている • 若い人が意見を言いやすい雰囲気・意見交換が年齢、経験に関係なく出来る雰囲気を作る • お互いが助け合いながら仕事をする中で、職員全員がオールマイティーにどの仕事でもこなせるようになり、個々の能力向上にもつながっています • 職員の意志を統一することが大事なので、職員会議をしっかりと行い皆さんの意見をしっかりと聞く

特徴的な意見・エピソード

労働環境 (就業時間・休みの取り方)

42件

- 今までブラックな体質文化であった保育の仕事、職場環境を抜本的に改革し、限りなくクリーンな状態を目指し、一つの到達点に至りました
- 時間外の仕事がなるべく発生しないように仕事量を調整、削減
- 書類面を含む業務の簡素化、時間外や持ち帰りの仕事の見直し
- 会社からも有休取得・残業代について指導があり、実践出来ている。シフト制のため、先輩後輩のしがらみなく、自分の時間できっちり帰るよう伝えている。自分の若いころは事務や作りものは家に帰ってから行うのが主流であったが、園内で行えるように時間を作ったり残業代もやった分だけ出している
- 事務負担軽減、休憩時間の確保、休みを取りやすくする、職場の雰囲気作り、いつでも相談できる体制、保育士とともに上司も保育を支えていく
- 子育てや介護をしている者同士、お互い様と思って休みを有効に取る。行事を精選し、会議や書き物を減らす

志望者・潜在保育士 等への働きかけ

48件

- 実習生や見学者の受け入れを積極的に行っている
- 保育所実習やボランティア、職場体験などに来た学生に、保育の楽しさが感じられるように指導をする
- 卒業した短大や高校などで、保育のリアルな1日をグループなどの近い距離で話せる場があると、将来に不安(保育士になるか迷っている子)があっても保育士の良さや楽しさが伝わるのでは

Q4: 国や自治体に、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んで欲しいことはありますか？

	特徴的な意見・エピソード
<p>労働環境 (賃金・昇進昇格)</p> <p>189件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認可保育園に限らず、平等な補助金と人員の確保・サービス残業の改善・給与などの待遇改善 ・ 大事な子どもたちを預かり、教育している私たち自身が自分の子どもを育てられない程の低月給 ・ 保育の質の向上にインセンティブが働く制度作り ・ 長く働いても新任の先生と数万程度しか差がない ・ 金銭面での補助が、都会だけでなく全体にいきたれば ・ 処遇改善1、2があるが、事務処理が面倒である。又職員全員の底上げをするには少ない ・ 保育現場全般(児童指導員・幼稚園教諭含む)が学生があこがれる職業になるよう一般企業との格差を埋めてほしい ・ 潜在保育士はかなりの人数いるのに、保育士が不足しているのは労働条件がまだまだ低いから(給料面等)だと思うので、もう少し見直してほしい
<p>労働環境 (就業時間・休みの取り方)</p> <p>53件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育時間の短縮(早朝や夜間の労働が離職を招く) ・ 完全週休2日制 ・ 国全体でライフワークバランスを考え、長時間労働を減らす。サービス業や各業種が働く時間を見直してもらえば、保育園も12時間以上開けていなくてもよい ・ 仕事が終わった保護者はすぐ迎えにきてもらうよう保育時間の取り決め。土曜保育見直し
<p>社会的地位の向上・ 保護者等の啓蒙・HP 等での発信</p> <p>56件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい保育の情報をどんどん発信して欲しい。事故や体罰など良くないところを報道されることで、世間の保育士への理解度が低く見られがち ・ 保護者によっては子育て教育を丸投げし「いつになったらトイレトレーニングをやってくれるのか」といったクレームもある ・ 保育士は子守ではなく専門職としての知識や技術を持ち、子どもの教育・保育に取り組んでいることを、もっとアピールして欲しい ・ 保育所でも教育がしっかりなされてきた歴史をきちんとうたってほしい。国民の中に幼稚園は教育をするけど保育所はしていないと勘違いしている意識が根強い ・ 四コマ漫画など読みやすい内容で保育士の仕事について伝える機会があると良い。ブログ、インスタなどを作って綺麗な保育士、イクメン保育士などを取り上げるのも良い

特徴的な意見・エピソード

保育士等の配置基準

27件

- 自治体ごとではなく全国的に、1歳児の配置基準を4:1 2歳児の配置基準を5:1に出来るように取り組んでもらいたい
- 保育士1人が受け持てる人数の緩和(特に保育士1名につき1歳児6人は子どもの育ちをより深くみることが難しい)
- 0歳児3対1や1・2歳児6対1では、十分な養育・教育が子どもたちにいきわたらない
- 保育士一人に対しての持ち人数を時代の変化と共に考えてほしい。保育料の無償化によって親は休み(平日)があっても子どもたちは1週間休みなしの子どもも増えている
- 全年齢対象に保育士の配置基準を増やしてほしい。グレーゾーンの子どもたちが増えている中、書類が増え仕事量が増えたので、就労時間内に仕事が終わらない
- 資格のある園長は現状保育士不足の状態の現在は早朝や遅番の人数にカウントして欲しい

OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見える化

15件

- 国と自治体をお願いしてキャリアアップ資格をeラーニング受講でもOKにして欲しい。そうすれば園内研修もしやすいし職員みんなで共有もしやすい。何より人手不足なので園外研修に行く職員の負担が減る
- 子どもの発達の勉強会
- コーチングやアンガーマネジメント資格取得に準じる内容の研修(年複数回)の実施

自治体監査・園評価のあり方

12件

- 保育所指針改定後に書類が大幅に増え、業務量が極端に増加しました。これにより保育士の業務も大幅に増えて精神的肉体的に過度な労働となっています。書類の削減に是非とも取り組んでいただきたいと思えます
- 午睡チェックを筆頭に、書類至上主義を廃止してほしい
- 監査をする方は、保育業務に従事経験のある方を中心にいただき、子どものための基準を考えてほしいです。さらに、都道府県単位では基準を統一したらどうかとも考えます。隣の区でも基準が大きく異なるので、異動などある園では負担が大きい

施設運営・事業主体の規制・助成基準

20件

- 国からの補助金を上げてほしい。その際に、保育士の給料としてしっかり反映されるように働きかけ、規制をかけて欲しい
- 保育園の開園時間を短くすること
- 企業型を作られたことで認可で指針に縛られたくない保育士が流れている。企業型の設立を待機児童500人以上等条件をつけてほしい

特徴的な意見・エピソード

業務負担軽減・業務効率化

19件

- “働き方改革”というものの書類や仕事量は増え、勤務時間中に全業務を終えるのは不可能です。子どもと向き合うことが第一の仕事なのに、書類が多すぎます
- 書類のボリュームが保育士業務を苦しめています。また、この書類はほとんど保育に活かされることはなく、ほぼほぼ監査対策のための書類となっています。厚生労働省には、簡易版の書類の雛形を作成していただきたい
- ICT化を保育所毎に任せるのではなく、自治体を上げて推進して欲しい

その他 法整備・行政対応

39件

- 保育士資格の国家試験必須化。施設長や施設長に準ずる者の国家資格取得(保育士をはじめ、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理士等)必須化
- キャリアアップを目指す方には、試験をしたり、ゴールド保育士免許とか、知識や技能・技術のしっかりした保育士に変えていかなければならない
- 公立私立に関わらず施設横断型の休日派遣・休憩対応保育士派遣制度
- 保育士不足解消のための無資格アシスタントの採用。子育て経験者や、高齢者勤労にも活路が開ける
- 認可保育園とは別に〔中略〕保護者と施設側が合意の上で休暇のときや、育休の時などは、短時間で予約制の保育を行う施設を設ける
- 幼免も就職には求められることが多い〔中略〕文科省とも連携して、潜在保育士も免許更新しやすくしてほしい
- 相当高度な知識・スキルを持った保育者の育成が必要であり、〔中略〕そこを整えると同時に、現職の保育者に対しても網羅的に研修を行うことで、日本全体の保育の質・レベルの向上に繋がる
- 自治体単独の補助金を増額して地域格差を生まないようにして欲しい
- 専門知識がある職員が、数園を管轄して相談に乗る制度か、それぞれの規模の園、近隣の園で定期的に集まり、意見交換するような場が欲しい
- 保護者も小規模保育園だと3歳の壁で保育園に入れないかもしれないと不安になっているので、小規模保育園から優先的に3歳児の入所が出来るシステムがあると良い